

ノアは祭壇を築く

キー・ヴァース「わたしは雲の中にわたしの虹を置く。

創世記9:13

厳選された聖典

創世記8:20-22、9:8-17

神の摂理による救いに感謝して、ノアは祭壇を築いた。そこで彼は、人類の歴史の新たな始まりを記念した。洪水は墮落した種族を粛清し、正しいノアとその家族だけが生き残った。主は、"人間の悪が地に満ち、その心の思いがことごとく悪のみである"

(創世記6:5) のを見ておられた。(創世記6:5) ノアが捧げたのは、聖書的に清いとされている動物だけだった。彼は、この先すべてが正しくあることを望んだのだ。彼のいけにえは、神になだめるような香りをもたらした。私は二度とすべての生き物を滅ぼさない。"創世記8:21

私たちは、再出発を願ったノアの心を称賛する。しかし、神の人間に対する評価は、"人の心の想像力は、その幼い時から悪である

"というものである。子供の頃、遊び場でいじめられたり、他人をいじめたりしたことがない人がいるだろうか？他人の悪口を言わないように唇を縛ったことがない人がいるだろうか？ほとんどいないだろう。

虹は、人間の理解をはるかに超えた神の知識と知恵を示している。「*Ex nihilo*（無から有へ）」とは、神が無から宇宙を創造したという概念を表す神学でよく使われる言葉である。パウロはこう断言している：「信仰によって、私たちは、宇宙が神の言葉によって創造されたことを理解します。ヘブル11:3

神は私たちの宇宙の構成要素である原子の複雑さと、そのすべての変種を設計された。私たちは、天地創造に込められた思いの深さに驚嘆する。すべての生命に不可欠な水を考えてみよう。1個の酸素原子に2個の水素原子を加えることによって、創造主は液体、気体、固体の形態で存在する物質を作られた。固体の氷は液体の水よりも軽いため、浮く。そうでなければ、地球の水のほとんどは一年中凍ったままになってしまう。また、水は雲（

)にもなり、その重さは何百万ポンドにもなるが、地球の上を優雅に浮遊し、地表に水を供給する。

雲が貴重な雨を降らせると、太陽光がその雨を照らす。水滴が光を屈折させ、さまざまな波長に分けることで、虹とその華やかな色のイメージが生まれる。これは偶然だろうか？そうではない！全知全能の神の計画されたデザインなのだ。"神の御業はすべて永遠の昔から知られている。"(使徒15:18)(使徒15:18) 虹は希望の象徴である。その美しさは私たちを鼓舞する。虹は、神が二度と洪水を起こして地球を滅ぼすことはないと言ったノアに確信させた。神は言われた。"虹は雲の中にあり、わたしはそれを見て、神と地上にいるすべての肉なる生き物との間の永遠の契約を思い起こそう"。それは "永遠の世代"のためである。創世記9:16,12

このことは、私たちにとってもう一つの意味を持つ。"私たちは、主の約束に従って、義の宿る新しい天と新しい地を待ち望んでいます。"(第2ペテロ3:13)

義の宿る地とは、私たちが日々「御国が来ますように」と祈っている地のことである。(2ペテロ3:13)
義の宿る地とは、私たちが日々祈る地である。みこ

ころが天にいますように、地にも行われますように
"。マタイ6:10